

会 議 録

1 会議名	平成20年度第8回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成21年3月23日(月) 午後2時30分～4時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	【委員】江連俊, 手塚敏子, 古橋悟一, 江連功, 小嶋耕一, 齋藤和之, 齋藤 功, 佐藤きよ子, 塩井洋子, 柴田征男, 古橋正好, 大木清茂, 小野三朗, 北見幸夫, 佐藤和男 【事務局】上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域経営課主幹, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	【傍聴者】なし 【記者】なし
7 会議経過	1 開会 2 提案書の提出 ・地域のまちづくりに関する施策の提案 3 報告事項 ・合併市町村基本計画の執行状況について 4 意見交換 ・2年間を振り返って 5 その他 6 閉会
8 補足事項	会長が都合により欠席となったことから, 宇都宮市地域自治会議規則第2条の規定に基づき副会長が進行を務める。

議 事	
3 報告事項	合併市町村基本計画の執行状況について
副会長	・次第3の「合併市町村基本計画の執行状況について」事務局から説明願いたい。
事務局	・「合併市町村基本計画の執行状況について」13の事業を4つに区分した順番で説明する。

『早急な整備が必要な事業』

・「児童の健全育成環境の整備」

上河内中央小学校区域，上河内西小学校区域については，「子どもの家」を開設しているが，上河内東小学校区域のみ「子どもの家」の整備が進んでいない。現在，上河内東小学校の校外に「留守家庭児童会」があり，平成22年度には校内に「子どもの家」を移行していく予定である。

・「中学校校舎整備事業，中学校体育館整備事業」

中学校校舎については，安全性の確保や機能復旧など，物理的な老朽化への対応，さらにバリアフリー化や耐震性を確保していくため，校舎の大規模改造を実施していく。

中学校体育館については，地震発生時に児童生徒等の安全を確保するとともに，地域住民の緊急的な避難場所としての役割を果たすことから，早急に耐震化を実施していく。特に耐震化の緊急性の高い学校施設については，平成22年度までに施設の耐震化を実施し，それ以外の施設についても，緊急性の高い優先順位を検討し，平成27年度までに耐震化を完成させていく予定である。

武道場については，部活動など教育に必要な施設ということで，公平な教育環境を確保するため，平成21年度に実施設計に入る予定である。

『整備に向けた早期検討が必要な事業』

・「生涯学習センター整備事業」

上河内生涯学習センターの改修については，利用者が安全かつ快適に利用できるよう，老朽化の度合いなどを見極めながら必要な整備内容を検討していく。

上河内体育館の整備については，施設の位置づけ，老朽化の状況，利用状況や宇都宮市体育館をはじめとする市全体のスポーツ施設の再整備の優先順位などに基づき，総合的に判断し，検討していく。

・「地域交流館整備事業」

平成20年度については，地域団体等が主体となり収穫体験の実施や市民農園の開設，交流の拠点としてPR強化を行ってきたが，平成21年度以降は，都市交流事業のニーズ把握や地域交流館と類似

施設の調査を行い、交流の拠点となる施設の整備内容について検討していく。

・「上水道事業統合整備」

平成21年度までに拡張事業計画を策定する中で調査検討を行い、計画の枠内で全市的な観点から見て優先順位の高い箇所から整備を行う。

・「農産物直売所等整備事業」

農産物直売所等整備事業については、直売所整備の事業主体を含め、候補地、施設規模、事業費等の概要が固まっていないなど、未だ地元の機運が充分でないことから、今後は地域の実情に明るい上河内地域自治センターが中心となり、地元の要望や活動を確認するとともに、整備手法や整備箇所等を含め、全市的な観点から検討する。

『計画期間内での適切・確実な執行が必要な事業』

・「スマートIC恒久設置事業」

現在は、順調に工事が進められており、平成21年度に工事完了を予定している。

・「中里原土地区画整理事業」

中里原土地区画整理事業については、順調に整備が進んでおり、平成22年度までに完成を予定している。平成20年度の進捗状況としては61.5%、平成21年度の予定は85.2%である。

『継続的な執行が必要な事業』

・「道路新設改良事業」

今年度、市道10111号線の改良工事が始まった。今後も事業の継続性・安全性・利便性などの観点から、事業効果の高い路線を優先的・重点的に実施する。

・「公共下水道整備事業」

今年度については、公共下水道污水管渠築造工事及び、特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事合わせて10ヘクタールの整備を行った。平成21年度については、22ヘクタールを予定している。

・「農道整備事業」

毎年度一定の額を予算化し、全市域を計画的に整備しており、今年度については、上河内地区で1481mの舗装が完了した。平成21年度については、1070mの舗装を予定している。

・「林道整備事業」

林道整備事業についても、毎年度予算化し整備している事業であり、今年度については、林道今里羽黒山線の改良工事及び、林道矢白線の舗装工事を行った。平成21年度には、高架橋の工事を予定している。

以上で「合併市町村基本計画の執行状況について」を終了する。

副会長

・今の説明について、各委員から意見を求める。

委員

・「公共下水道整備事業」について、当初の計画では、福祉センターまで計画されていたが、合併後、市の考え方が伝わってこない。合併浄化槽にするのか、下水道が入るのか、計画を出していかないと住民も理解できない。

事務局

・認可区域には入っているのので、整備していくことになっている。指摘があったとおり、実際にその地域に住んでいる方々に、分かりやすくお知らせする必要があると考える。

委員

・地域住民の要求したものが少ない。大半が継続の事業で、新規の事業が上河内東小学校区域の「子どもの家」だけである。また、上水道と下水道の進捗状況について、どれくらい上河内は進んでいるのか。

事務局

・早急な「整備が必要な事業」、「計画期間内での適切・確実な執行が必要な事業」、「継続的な執行が必要な事業」については、計画期間が定められており、順調に進んでいる事業である。「整備に向けた早期検討が必要な事業」については、執行部で検討中である。

<p>事務局</p> <p>副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道の進捗状況については、昨年度は155ヘクタールの認可区域に対する進捗率であった。今年度については、認可区域が233ヘクタールに変更されている。状況が変化していく中で一定を捉えながら進捗率を出すのは難しいことから、進捗率の記載は控えさせていただいたが、平成21年度については、22ヘクタールの整備が予定されているため、順調に進んでいる事業である。</li> <li>・今の説明について、各委員から意見を求める。 (意見なし)</li> </ul>
<p>4 意見交換</p>	
<p>副会長</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第4の「意見交換」について、委員としての2年間の感想と、今後の自治会議に望むことを各委員からお聞かせ願う。</li> <li>・2年間という期間、上河内地域を魅力ある地域にするために、みんなで悩み苦しみながら議論してきた結果、2回の答申とまちづくりの提案という立派なものができあがった。答申書については、上河内地域が宇都宮北部の拠点となるように考慮していただき、まちづくりの提案については、上河内地域はどのような点に重点を置いてまちづくりをすればよいのかという提案であると思う。これから自治会議・いだらぼうの会・まちづくり組織が共通認識できるような運営が必要である。</li> <li>・自治会議委員として、行政と深い関わりあいをもって大変勉強になった。こういった経験を今後の活動に活かし、少しでもまちづくりの手伝いができたらと考えている。しかし、自治会議の立場が明確でないまま試行錯誤を繰り返し2年間活動してきたため、今後の自治会議の活動情報を住民の方々にどう発信していくのか、住民の意見が反映されるように意見交換が必要である。</li> <li>・答申が、合併市町村基本計画に載っている事業の推進とういこともあり、出したことで本当に効果があったのか、実際は効果の程が見えない感じがする。まちづくりの提案については、具体的で実現可能な内容に進むべく検討した結果、他のグループと違った結果になってしまったことに反省している。そして、今後の自治会議で答申</li> </ul>

	<p>を今までと同じやり方でいいのか、また、今回の提案の施策が実現しないうちに、次の提案を出すのはどうなのかと思う。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答申書をまとめるまでには、視察研修などを重ね、市民協働によるまちづくりが大切であると実感し、合併後のいろいろな課題に十分対応できたのではないかと思う。今後は自治会議の本来の目的を明確にしながら、まちづくりとの関係をどうするのか、大切な時期になってくる。自治会議委員が自ら学ぶべき問題解決の手法や、勉強をする機会を与えていただき、今後の進め方を検討していく必要がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併後のまちづくりということで、現状や課題がいろいろあることや、地域にはたくさんものがあることが分かった。今後は、自分たちで問題となるものの方向性を見出し、よりよいまちづくりへと発展することを望む。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魅力あるまちづくりについては、地域をいろんな目で見たり聞いたり検討した結果、今回の提案書ができあがった。今まで地域に住んでいても地域の分からない部分がたくさんあったが、地域を知ることができて大変満足している。地域住民との密着は、生活に欠かすことのできない事項であり、これらが良い方向に動くことを期待している。そして今後発足するまちづくり協議会と連携を図り、人々が触れ合う環境や、豊かな資源を活かした農業環境の推進を願っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併のプラス面、マイナス面について、合併してよかったと思えるような上河内地区をめざしたかった。合併後の不安があると思うので、自治会議が旧上河内の安心・安全を考え、そして行政がより近くなるように願っている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併市町村基本計画にある主要事業についての進捗状況の確認はもちろんのこと、これからは地域のまちづくりに積極的に取り組んでいく必要がある。グループ会議では、3つのグループに分かれて異なる話し合いをしてきたが、もっと共通の話題に対しての話し合いが必要であり、これからは地域の特性を活かしたまちづくりを考え</li> </ul>

	<p>ていかなければならない。買い物や医療についても、さくら市に頼っている状況があり、上河内にもショッピングモールの実現などを願っている。</p>
<p>委員</p>	<p>・この2年間、人との出会い・人の考え方・上河内を思う心を、共に学ばせていただいたことで、大きな心の財産を得ることができた。今後、自治会議に望むことは、一人でも多くの住民に同じ経験をしていただきたい。そして上河内地域だけでなく宇都宮市を発展させていこうという気持ちを持って今後の飛躍に繋げていってほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>・合併市町村基本計画の答申については、行政からの回答がはっきりしていなかった。まちづくりの提案に関しても、どこまで考えて提案していけば良いのか、理解できないまま終わってしまった。今後は、合併市町村基本計画に基づいた答申が最優先なのか、それとも、まちづくりに重点を置くのが課題であり、地域の活性化のために、まちづくり勉強会等と連携強化を図りながら、お互いの意見を出し合って良い方向へ向かっていければと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>・市長への答申、魅力あるまちづくりに向けた施策の提案については、上河内地域の実態を振り返って検討した結果、総合的な判断として素晴らしい内容のものができたと思う。今後、出された提案や要望に対しての回答をいただき、まちづくりを進めていく必要がある。</p>
<p>委員</p>	<p>・自治会議は非常に形式的な会議であったが、われわれが答申した内容について、もう少しフィードバックが欲しかった。3グループ別々に協議していたことについても、参加できない2つのグループの意見を集約できない。自治会議が非常に形式的であるのに対して相反するものがあり、意見を集約するのであれば、自治会議に重点を置いて詳しく協議する必要がある。</p>
<p>委員</p>	<p>・上河内に生まれ育ったのに、何一つ知識を得てなかったのかと反省している。自治会議委員となって大変勉強になったが、やはり委員として自治会議においても、まだまだ勉強が足りないと思う。</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治会議の自治とは、自ら治めることであり、自己選択・自己決定・自己責任という「地域のことは地域で考える」ためにできた会議が自治会議である。今後の自治会議に望むことは、積極的に民意の中に入って声を聞く、それが最大の努力であり、住民から離れたような会議であってはいけない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併後、自分たちの地域はどうなっているのか、合併市町村基本計画が十分に執行されているのかについて、多くの地域住民から意見を伺っている。このような中で、自治会議では地域の状況を把握し、地域住民の声に耳を傾けながら、市長への答申や魅力あふれる地域をめざした提案ができた。今後の自治会議としては、この地域の方々の意見を把握し、会議に反映させ、答申や地域活性化のための提案を満たしていかなければならない。そのためには、地域の方々の声をもう少し聞く努力を、自治会議の委員自らが行っていくことが必要である。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他に何か意見を求める。 (意見なし)</li> </ul>
5 その他	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日が自治会議の最後となるので、上河内地域自治センター所長よりご挨拶をさせていただく。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会議委員への2年間のお礼と今後の自治会議について述べる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上を持って、「平成20年度第8回宇都宮市上河内自治会議」を終了する。</li> </ul>